

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成 26 年 12 月 1 日（月）13 時 30 分～14 時 00 分
2. 場 所：石川県庁行政庁舎 11 階 1109 会議室
3. 出席者：委員 20 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

(1) 「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

(2) 「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）平成 26 年度第 2 報」及び「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）平成 26 年度第 1 報」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

(3) 「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

(議長) 敷地内破砕帯については、第 3 回の評価会合後、約 2 ヶ月経過しようとしているが、具体的な進展がないように思われる。第 2 回、第 3 回の評価会合での指摘に対し、北陸電力では、十分説明できるだけの準備は整っているのかどうか、また、追加ボーリング調査は終わったのかどうか、敷地内破砕帯の状況を説明いただきたい。また、国の評価会合も含めて、審議の見通しを教えてください。

(電力) 評価会合でポイントとなる指摘 3 点とその進捗状況として、1 点目は、建設前に行った旧トレンチ調査でのスケッチの原図を提示し、その内容について合理的な説明をするように指摘があった。スケッチの原図そのものは残っていないが、トレンチ壁面の詳細写真や拡大写真等を元に、当時のトレンチの上載地層に変位・変形がないことを説明できるようにデータの整理を行っている。2 点目として、S-2、S-6 の関係で条線データを追加した上で、応力場の逆解析を行い、その結果を元に能登半島の地質構造発達史との関連で考察を加えるように指摘があった。条線データ追加のボーリング調査自体は 10 月上旬で終了し、応力場の逆解析についても終了しているが、現在、地質構造発達史との関連について整理している。3 点目として、S-6 で行ったトレンチ調査（3 箇所）の上載地層について、より詳細な説明をするように指摘があり、これまでの肉眼観察に加え、現在、顕微鏡レベルでの観察によりデータの補強を行っている。

次回（第 4 回）の評価会合については、開催を原子力規制委員会にお願いしているところであるが、次回会合では、有識者に納得いただけるよう、しっかりデータを充実させ説明していきたい。

(4) 前回の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。